

市指定文化財<史跡>

かけまくじょうあと
掛幕城跡

指定日 昭和41年4月15日

所在地 菊池市原 柏



城跡は立門^{たてかど}集落北側の標高415mにある柏地区内で、広い原野台地の一端にある。下を流れる立門川から見れば屹立した崖上にある。東北の原野のくびれた部分に「城の堀」と呼ばれる人工の約120mに亘る堀切らしいものがある程度であり、城らしくない場所である。付近に牛馬の放牧に適した牧野や田畑があり柏集落がある。

立門の手前に生味番所^{おおみ}があったことでも分かるように、この道筋は古くから阿蘇・日田に通じる重要な往還が通っており、その方面の備えとしての城だったと考えられる。城主は代々柏氏と伝わっている。

私塾「星聚堂」を開いた渋江松石が1794年に著した『菊池風土記』に、菊池の城跡は語呂良く「十八外城^{とじょう}」と発表しているが、最近の調べでは物見程度の簡単な城も含めると24城くらいになり、いずれも史実や遺構調査で実証されたものではない。